

(別添7)

事業所名 グループホームやまなみ

## 2 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 5 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	職員の異動もあり、地域特有の防災に対する意識が薄れている。	職員一人ひとりが防災の意識を高め、特に火災を想定した避難誘導に対して、誘導方法を修得する。	10月・4月の防災訓練において、一般的な避難方法について、再度学ぶ。また、非常時の利用者さまの避難誘導方法(優先順位)等について、3ヶ月に1回程度、会議で話し合う。	12ヶ月
2	4	運営推進会議がマンネリ化している。	運営推進会議が参加者にとって、有意義な会議となり、グループホームの運営にも反映される。	現状の議題の他、利用者さまの同意を得た上で個別の認知症介護のケースについて紹介し、関心を高める。	12ヶ月
3	31	外部の訪問看護ステーション(看護師)と情報の共有や連携が不十分な場面がある。	主治医と看護師、介護スタッフとの連携がスムーズに行える。	受診は介護スタッフが付き添うが、内服の変更等はケース記録で共有する。また、お互いに情報伝達が不十分である為、まず、介護スタッフ間の情報の共有について、見直す。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。